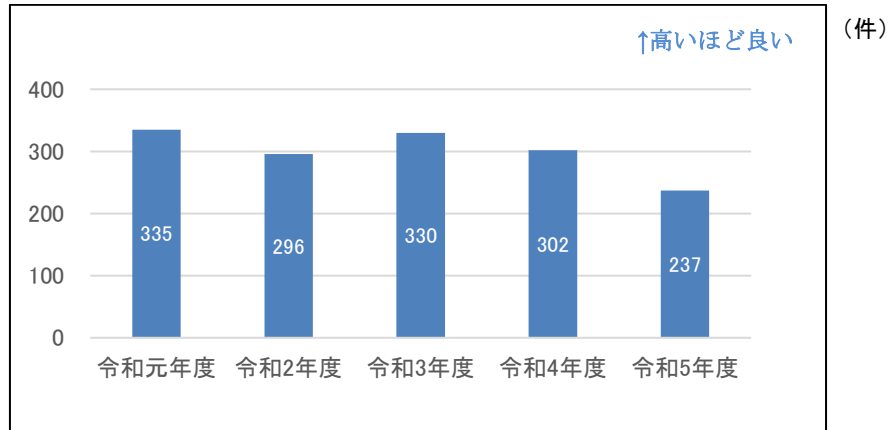


3 緊急時間外手術件数

○項目の解説

夕方以降から深夜、日曜日祝祭日など通常時間帯以外の手術に対応できる力を示す指標です。予定外の緊急時間外手術に常に備えるには、十分なベッド数や検査・画像診断機器などの設備、麻酔や執刀を行うスタッフが必要です。

○当院の実績



○当院の自己点検評価

当院は、地域の救急医療の担い手となっており、旭川周辺の関連病院からの搬送、緊急時間外手術も昨年同様多く行っております。令和5年度は、DPCデータを基に算出した緊急時間外手術件数は減少しましたが、病院全体の緊急時間外手術件数は例年と変わりなく、交通外傷などの受け入れ、緊急手術などが多かった印象です。緊急手術は感染対策の対応基準を作成し、スムーズに手術室で手術が行えるように対応し、コロナ前とほぼ同様の緊急時間外手術を受け入れることができました。患者さんに対する新型コロナウイルス感染症に関する情報も、関連病院から搬送時に患者情報を速やかに連携する情報システム(ドクタースマートフォン等)も活用し、緊急手術の際の手術室入室を速やかに行えるようにしています。

手術部に関係する他診療科および関連する中央部門との連携を良くし、麻酔科、看護師、臨床工学技士、放射線技師など緊急時間外手術に対応する各職種の人員配置やオンコール体制を適切に行っています。また、臨床検査・輸血部の協力のもと、時間外に緊急で大量に輸血が必要な手術に対しても、迅速に輸血を準備し、安全に手術を行っています。

○定義

DPC データを元に算出した、手術室で行われた手術(医科診療報酬点数表2章第10部手術に記載された項目(輸血を除く)で、かつ緊急に実施した(時間外加算、深夜加算、休日加算を算定した)手術件数です。あらかじめ計画された時間外手術は除きます。

複数術野の手術等、1手術で複数手術を行った場合でも、同一日の複数手術は合わせて1件とします。

○算式

実数